

整備事業  
I 産地競争力の強化を目的とする取組用

(秋田県 平成26年度)

市町村名	事業実施主体名	メニュー① (対象作物・畜種等名)①	成果目標の具体的な内容①	事業実施後の状況①						メニュー② (対象作物・畜種等名)②	成果目標の具体的な内容②	事業実施後の状況②						特別枠加算の取組の具体的な実績	事業内容 (工種、施設区分、構造、規格、能力等)	事業費(円)	負担区分(円)				完了年月日	事業実施主体の評価	都道府県の評価	備考		
				計画時(平成23年)	1年後(平成24年)	2年後(平成25年)	3年後(平成26年)	目標値(平成26年)	達成率			計画時(平成23年)	1年後(平成24年)	2年後(平成25年)	3年後(平成26年)	目標値(平成26年)	達成率				交付金	都道府県費	市町村費	その他						
大館市	あきた北農業協同組合	野菜(枝豆)	10a当たり流通コストを22.4%削減	105,014円			82,313円	81,424円	96.2%	共同選果による雇用労働費の削減と、縦ピロー包装機の使用による包装資材費の削減により、10a当たり流通コストを21.6%削減した。	野菜(枝豆)	全出荷量に占める加工向け又は外食・中食向けの割合を25ポイント増加	17.7%			27.0%	42.7%	37.2%	6月の高温・干ばつ、8月の長雨の影響により生産量が少なく、予約相対に優先的に販売せざるを得ない状況となったが、加工向け又は外食・中食向けの割合は、9.3ポイント増加した。	集出荷貯蔵施設 処理量:495t	386,543,850	184,068,000	0	0	202,475,850	H26.3.18	流通コスト削減については、共同選果により雇用労働費や包装資材費の削減が図られたが、目標達成に至らなかった。今後は、加工向け等コンテナ出荷量の増加により、包装資材費を更に削減し、目標達成を図りたい。	流通コスト削減については、目標達成まであと少しである。事業実施主体では、コンテナ出荷の比率を高め目標達成することとしていることから、県では、商談会や実需者等の情報提供などの支援を行う。 加工向け又は外食・中食向けの割合が目標未達成の要因は、天候不良による生産量減少である。今後は、安定生産量の確保に向けて生産量の増加を図るため、県事業によるマルチ栽培の導入支援や営農指導員と連携した普及指導員の技術指導を継続し、目標達成に向けた支援を行う。		